

第3章 目指す将来像と計画の体系

1 目指す将来像

本計画が目指す将来像を以下のとおりに定めます。

目指す将来像

ふるさとの自然を育み、自然の恵みを活かして
人の暮らしを支えるまち

目指す将来像の共通認識

高森町環境保全条例の前文は「地球の自然は次代に引き継ぐものでなく、次代の人々から借りているもので、汚さず返さなければならないもの」と謳っています。これは高森町の自然は地球の一部であり、将来世代から借りているものであるという認識を共有することが大切であるということを表しています。

私達町民は、天竜川の河岸段丘のもたらす肥沃な土地と豊かな自然環境の恵みの中で、歴史と伝統を育んできましたが、近年、自然や生物に影響を及ぼす化学物質やマイクロプラスチック、そして地球温暖化等といった地球規模の環境課題に直面しています。今を生きる私達一人ひとりはこの課題を解決し、将来世代が生きやすい地球・暮らしやすい地域を残していかなければならない義務と責任をもっています。

2 計画の体系

目指す将来像 ふるさとの自然を育み、自然の恵みを活かして 人の暮らしを支えるまち		
計画の柱	計画の目標	具体的な目標（数値目標等）
A 2050年 カーボン ニュートラルの実現	1. 地球温暖化の防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本町の二酸化炭素排出量の削減 ● 役場庁舎等の二酸化炭素排出量の削減
	2. 省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境にやさしい生活を心がけたり実践したりしている町民の割合（アンケート）
	3. 再生可能エネルギーの利用拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電システム補助累計 ● 太陽熱温水器設置累計 ● 小水力発電施設の導入 ● バイオマスエネルギー利用機器（薪・ペレットストーブ、ボイラー）設置累計
B 自然環境の 保全と生物 多様性の確保	1. 森林の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 高森町森林経営計画（主に中央自動車道より上段域）に基づく整備済累積面積割合 ● 段丘林整備面積の累計割合
	2. まちの緑と農地の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害鳥獣による被害額の抑制 ● 農業荒廃地の面積
	3. 生物多様性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境調査の実施 ● 町主催の自然観察会の実施
	4. 特色ある景観の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内に自慢できる景観スポットがあると答えた町民の割合（アンケート）
C 循環型社会の構築と環境負荷の低減	1. ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ● 1人1日あたりごみ排出量・全国順位（少ない方） ● 生ごみ処理機器導入台数累計
	2. 資源循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル率 ● ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の登録者数
	3. ごみの適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ● 不法投棄件数（県報告10kg以上）
	4. 安全・安心な生活環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内河川39カ所のBOD水質判定
D 環境に配慮した人材の育成	1. 子どもの環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学校と連携して行う環境教育の回数 ● 『高森町の動植物』を活用した自然観察会の開催
	2. 大人の環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報・ホームページ等への情報発信件数

3 SDGs との関係

平成 27 年 9 月の国連持続可能な開発サミットで「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、「持続可能な開発」を基本概念として国際社会全体でさまざまな課題に取り組んでいくことが示されました。その中核をなすのが SDGs（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals）です。

SDGs は、あらゆる貧困や不平等をなくしたり、気候変動等の環境問題に対処したりして地球上の誰一人取り残されないようにするために、重要項目ごとに地球規模レベルの 17 のゴール（目標）と、各国の状況を踏まえて各国政府がより具体的な到達点ないし経過点を示すための 169 のターゲットを定め、平成 28 年～令和 12 年までに達成することとしています。

持続可能な開発目標 SDGs 17 ゴール



出典：国際連合広報センター

SDGs の 1～16 のゴールは「環境（生物圏）」「社会」「経済」の 3 つの階層に分けることができ、基盤となるのが「環境」で、その上に「社会」があり、さらにその上に「経済」があります。そして 3 つの階層の頂点に位置するのがターゲットの 17（パートナーシップ）です。この階層構造はウェディングケーキのように積み重なるように見えることから、「SDGs ウェディングケーキモデル」と呼ばれています。

一番下の「環境（生物圏）」は、生活や産業等の人間社会と経済活動、すなわち「社会」と「経済」の 2 つの階層を支える基盤です。ここには 6（水）・13（気候変動）・14（海）・15（陸）の 4 つのターゲットが含まれます。これらは本計画の「計画の柱」の「A. 2050 年カーボンニュートラルの実現」や「B. 自然環境の保全と生物多様性の確保」に関係しています。

「環境（生物圏）」の上に積み重なる「社会」は、1（貧困）・2（飢餓）・3（健康な生活）・4（教育）・5（ジェンダー）・7（エネルギー）・11（安全なまち）・16（平和）の 8 つのターゲットが含まれています。これらは本計画の「計画の柱」の「A. 2050 年カーボンニュートラルの実現」や「B. 自然環境の保全と生物多様性の確保」、「C. 循環型社会の構築と環境負荷の低

減」、それに「D. 環境に配慮した人材の育成」に関係しています。1（貧困）・2（飢餓）は直接本計画に関係することはありませんが、たとえば廃棄物の越境移動のような行為があれば途上国の環境や社会に影響を及ぼすなど、間接的に関係してきます。

最上段の「経済」は、8（雇用）・9（産業・技術）・10（不平等是正）・12（責任）の4つのターゲットが含まれています。このなかには本計画の「計画の柱」の「A. 2050年カーボンニュートラルの実現」や「C. 循環型社会の構築と環境負荷の低減」に関係しています。

そして、3つの階層の頂点に位置するターゲット17（パートナーシップ）は、本計画を推進して目標を達成するために重要な各主体（町・町民・事業者）の参加・連携・協働が必要であることから4つの「計画の柱」とそれぞれの「計画の目標」のすべてに関係します。

このようにSDGsは本計画と直接・間接に関係しています。また、本計画の期間は令和4～11年であることから、SDGsの目標達成期間（平成28年～令和12年）に含まれます。そのため、本計画の「計画の柱」と「計画の目標」もSDGsの17のターゲットに関連づけて実施することとします。

持続可能な開発目標 SDGs の3つの階層

目標	ゴール	階 層		
		環境	社会	経済
目標 1	貧困をなくそう		■	
目標 2	飢餓をゼロに		■	
目標 3	すべての人に健康と福祉を		■	
目標 4	質の高い教育をみんなに		■	
目標 5	ジェンダー平等を実現しよう		■	
目標 6	安全な水とトイレを世界中に	■		
目標 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに		■	
目標 8	働きがいも経済成長も			■
目標 9	産業と技術革新の基盤をつくろう			■
目標 10	人や国の不平等をなくそう			■
目標 11	住み続けられるまちづくりを		■	
目標 12	つくる責任 つかう責任			■
目標 13	気候変動に具体的な対策を	■		
目標 14	海の豊かさを守ろう	■		
目標 15	陸の豊かさを守ろう	■		
目標 16	平和と公正をすべての人に		■	
目標 17	パートナーシップで目標を達成しよう	■	■	■



SDGs ウェディングケーキモデル

計画の体系と SDGs のターゲットとの関係

計画の柱	A カーボンニュートラル			B 自然環境			C 循環型社会			D 人材			
	地球温暖化	省エネ	再エネ	森林	緑・農地	生態系	景観	ごみ減量	循環型社会	ごみ処理	安全・安心	子ども	大人
目標 1 貧困													
目標 2 飢餓													
目標 3 健康福祉								●	●	●	●		
目標 4 教育	●	●	●			●			●	●		●	●
目標 5 ジェンダー													
目標 6 水・トイレ											●		
目標 7 エネルギー		●	●										
目標 8 経済成長													
目標 9 産業・技術革新	●	●	●					●	●	●	●		
目標 10 不平等													
目標 11 まちづくり					●		●	●	●	●	●		
目標 12 消費・生産	●	●	●					●	●	●	●		
目標 13 気候変動	●												
目標 14 海洋生態系						●							
目標 15 陸域生態系				●	●	●							
目標 16 平和・公正													
目標 17 パートナーシップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

計画の柱：A. 2050年カーボンニュートラルの実現
 B. 自然環境の保全と生物多様性の確保
 C. 循環型社会の構築と環境負荷の低減
 D. 環境に配慮した人材の育成

階層： 環境 (緑) 社会 (黄) 経済 (青)